

一般質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な事柄について、議員が提言も含めて町に考えを聞きます。

今回の一般質問で、あなたの生活に関わる内容はありますか？



16人中13人が登壇

町政を問う！

一般質問

6月8日・9日

YouTubeにて議会映像 配信中！



各議員の記事に掲載の二次元コードを読み込むと、その議員の一般質問の様子を動画でご覧いただけます。ぜひ、ご視聴ください！

CONTENTS

子育て・教育

- ・受験生へのインフルエンザ予防接種費用の補助について **秋葉富士子** P7
- ・愛知県の中高一貫教育について **前田 明弘** P8
- ・土日祝日の部活動の地域移行について **前田 明弘** P8
- ・より良い部活動の地域移行を目指して **杉下久仁子** P9
- ・学校給食費の無償化について **杉下久仁子** P9
- ・保育料無償化後の公立保育事業の進捗と課題について。 **山田 眞悟** P9
- ・東浦町の保育園について **三浦 雄二** P11

まちづくり

- ・^{まめつき}豆搗川周辺の整備について **大川 晃** P8
- ・町運行バス「う・ら・ら」について **赤川 操恵** P10
- ・本町の都市公園について **赤川 操恵** P10
- ・緒川新田地区のまちづくりについて **三浦 雄二** P11
- ・空き家等対策における具体的方針を問う **久松 純志** P11
- ・東浦町立地適正化計画と東浦町公共施設の整備・再編について **久松 純志** P11
- ・東浦駅周辺整備について **久松 純志** P11
- ・「公共施設マネジメント」について **長坂 知泰** P13

くらし

- ・旅券(パスポート)申請交付の窓口について **杉下久仁子** P9
- ・本町の窓口業務について **赤川 操恵** P10

安全・安心

- ・安全・安心な東浦町をめざして **秋葉富士子** P7
- ・安全・安心に住み続けるまちづくりについて **森 靖広** P7
- ・犯罪抑止等防犯施策の充実・強化を **北野 興地** P10

健康・福祉

- ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症へ移行に伴う対応について **大川 晃** P8
- ・これまでの日本社会を背負って生きてきた高齢者にあたたかい事業の展開を求めます。 **山田 眞悟** P9
- ・带状疱疹ワクチン予防接種費用の助成について **間瀬 宗則** P12

その他

- ・結婚支援の取り組みについて **秋葉富士子** P7
- ・神谷町長が考える「まちづくり政策」について **森 靖広** P7
- ・移動式期日前投票所の導入で投票率の向上を！ **間瀬 宗則** P12
- ・神谷町政の12年問を問う。 **山下 享司** P12

Q 本町の結婚支援の取り組みは



あきばふじこ
秋葉富士子
議員



A 結婚新生活支援事業補助金創設

Q 令和5年度、県の婚活イベントの開催が予定されているが、内容は。
A 10月に愛・地球博記念公園で20歳以上40歳未満の独身者400人を対象とした婚活イベントを予定。
 加えて県内各地で、40人規模の婚活イベントと、スポーツ観戦や音楽イベント等に合わせた30人規模の婚活イベントが、それぞれ5回予定されている。

Q 県の取り組みを活用した本町の取り組みは。
A 県担当課に町内施設を活用した婚活イベントの開催を打診したが、



▲東海市の結婚応援センター

一安全・安心な東浦町をめざして

Q 本町では「東浦町防犯カメラ設置費補助金交付事業」を平成30年4月から5年間実施したが、終了した理由は。
A この事業は期間を定めることにより、地区自治会等に早期に取り組んでもらうため5年間とした。

Q 今年度、県は「防犯カメラの購入・設置、特殊詐欺対策機器等の購入支援事業」を実施する。これを活用した本町の取り組みは。
A 現時点では活用する予定はないが、県内市町村の状況や各地区とも話し合いながら検討していく。

他 受験生へのインフルエンザ予防接種費用の補助

Q 通学路対策の優先順位はあるか



もり すすひろ
森 靖広
議員



A 優先順位は付けていない

Q 通学路の危険・要注意箇所が継続して洗い出された箇所の対策方法を伺う。
A 改善が速やかに行えない場合は、継続案件として取り扱い、次回以降の通学路安全対策担当者連絡会にて引き続き進捗状況の確認を行う。

過年度に要望どおりの対応が難しいとの協議結果に至った点検箇所にも、新年度にも同様の要望があった際には、再度施設管理者への働きかけを行う一方で、代替となる方策がないか協議する。

Q ヒヤリハット^①等は関係機関へ連絡する仕組みはあるか。
A 即時に連絡する仕組みはないが各種会議等、さまざまな機会に関係機関と情報共有を図っている。

Q ヒヤリハット等の聞き取りは学校等で日常的に行われているか。
A 日常的には行っていないが、教師と児童生徒間、各家庭で児童生徒から保護者へ日常会話で伝達される



▲ヒヤリマップを使い通学路の見える化を

ヒヤリハットをPTAを通じて対策要望箇所として提出している。

一神谷町長が考えるまちづくり政策
Q 本町の住民自治への変革で力を入れた事業は。
A 重要な政策テーマごとにワークショップを行い、各地域において住民懇談会を開催し、住民の皆さんの意見を取り入れるよう努めた。まちの将来を左右する重大な意思決定に、「住民皆さんが直接参加」できる常設型の「住民投票条例」^②も議会の協力でつくることできた。

語句説明

①ヒヤリハット…大きな事故に巻き込まれてもおかしくないような状況ではあったが、幸いにも回避できた出来事。
 ②住民投票条例…住民に重大な影響を及ぼす町政の重要事項について、住民が直接賛否の意思を表明する制度。

Q 愛知県の中高一貫教育について



まえだ ひろゆき
前田 明弘
議員



A SSH^①で取り組む

Q 中高一貫教育を目指すならいとも具体化についての見解は。

A 導入のねらいは、「チェンジ・メーカー」を育てる・自分らしさの探究と創造・チャレンジ・一人一人異なる個性をもつ子どもたちの可能性を最大限引き出す学びの実現・誰でも社会の变革者となる学びの推進」である。

導入校として、SSHと呼ばれるスーパーサイエンスハイスクールの愛知県立半田高等学校、刈谷高等学校、明和高等学校等が選ばれた。

SSHで取り組んでいる大学・企業・研究所との連携や国際交流等の実績を生かし、中学校段階から、大

併設中学校の通学区(学区)

学校名	学科	学区
明和	普通科 音楽科	尾張学区 県内全域
津島	国際探究科	県内全域
半田	普通科	尾張学区
刈谷	普通科	三河学区(調整区域として、東浦町・大府市・豊明市)

尾張学区⇒東浦町を含む

▲愛知県教育委員会
中高一貫教育導入方針(案)

学・企業・研究所への訪問や、高度な実験・実験体験、国際交流等に取り組む、興味・関心を高めるとともに教養を広めることができる。

■土日祝日の部活動の地域移行は

Q 9月からの地域移行についてどのように取り組んでいくのか具体的な内容を伺う。

A 5月に仮称であった町営クラブの名称を「ひがしうら地域クラブ」と決定した。従来の休日部活動をそのまま引き継ぐのではなく、部活動が縮小することで、生徒たちの休日の過ごし方を選択する幅が広がることを見越し、生涯スポーツや生涯学習の観点から、さまざまな運動や文化活動に触れる場を拡充するために立ち上げるものである。6月下旬からは地域クラブ検討会や協議会を行い、町の考え方等の共通認識を図るとともに、実施に向けてのルール等を協議する予定。9月からの実施に向けクラブ参加者の募集や指導者への研修を行う等準備を進めていく。

Q 豆搗川周辺の整備について



おかわ おさむ
大川 晃
議員



A 草刈り等の対策を実施

Q 河川管理区分としてどこが管理管轄しているか。

A 河口から石浜三本松交差点の西側約100mまでの約2.3kmは2級河川として県が管理し、その上流約2kmは普通河川として町が管理している。

Q 豆搗川周辺で活動しているボランティア団体は。

A 1団体が豆搗橋より東側の右岸堤防道路で月に1、2回除草やごみ拾いを行っている。



▲豆搗川周辺の地図

コロナの

5類感染症移行に伴う対応

Q 今後のコロナに対する住民への対応は。

A ワクチン接種は、「春開始接種」を実施中。令和5年9月から「秋開始接種」を実施予定。相談窓口は、かかりつけ医や外来対応医療機関、愛知県コロナウイルス健康相談センター。医療費負担は、1割から3割の自己負担が生じることになるが、入院医療費や外来での治療の費用については9月30日まで自己負担の減額措置を実施。コロナに罹った患者に対する買い物や配食支援は終了した。

語句説明

① SSH…スーパーサイエンスハイスクールの略。文部科学省が科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高校を指定する制度。

Q 休日部活動廃止、延期を求める



すぎした くにこ
杉下久仁子
議員



A 今年9月の開始を目指す

Q 今年9月にすべての休日部活動を廃止し地域クラブをスタートするには、児童生徒や保護者からの理解が得られているとは言い難い。延期を求めるが見解は。

A 児童生徒、保護者等へアンケートを行い、ニーズ把握に努めている。学校現場では、休日の部活動が教員の多忙化の一因となっているため、廃止することで多忙化を解消し、教育の質の向上を目指している。

今のところ、町の推進協議会で延期を求める意見は出ておらず、今年9月の開始を目指す。

一学校給食費無償化を求める

Q 地域移行後、他の中学校区へ移動が必要な生徒もいると考えるが、公共交通を利用する場合の支援は。

A 地域クラブは任意参加のため、運賃の支援は考えていない。

Q 国の動きに先行し、町独自の事業実施を求めるが見解は。

A 学校給食法で規定されている「食料費は保護者負担とする」という考え方に変わりはない。

一旅券(バスポート)申請交付の窓口

Q 本町独自、または近隣市町との共同でバスポート申請受付窓口の開設への見解は。

A いずれの場合も運営コストがかかること、一部の方しか利用されていないこと等、費用対効果等を踏まえ、愛知県が対応することが最も適切であると判断。他の行政サービスとの優先順位を見極めながら総合的に判断していきたいと考えている。

Q 敬老事業の復活を求める



やまだ しんご
山田 真悟
議員



A 住み慣れた地域で事業充実

Q コロナ禍で廃止された「敬老事業」の復活を求める。

A 敬老会に類似した事業でなく、地域包括ケアの考えをもとに、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるような事業を充実していく。

Q 高齢者への葬祭費上乗せ支給を求める。

A 葬祭費上乗せ支給を実際に受けるのは、喪主となることから、高齢者への補助にはならないと考える。また、加入する医療保険によって葬祭費の支給額が異なることおよび高齢者に限定することによる現役世代の方との公平性の観点から、上乗せ補助を実施する考えはない。

保育料無償化後の公立保育事業の課題

Q 保育士の年度途中退職の実態を問う。

A 産前産後休暇、退職する保育士がいる。会計年度任用職員保育士を当てて保育運営を行っている。退職



▲園児を見守る保育士

Q 保育士の持ち帰り残業の実態は。

A 「東浦町定員管理計画」に基づき、正規職員保育士数を令和5年4月1日時点の135人から令和8年度は141人に増員する計画。

A 担任保育士は子どもに作ってあげたいおもちゃ等、製作に時間がかかることもある。進捗状況も確認し、持ち帰り残業がないよう指導している。

者は2年度自己都合7人、3年度は10人、4年度は17人となる。

Q 保育士の増員計画は。

A 「東浦町定員管理計画」に基づき、

Q 犯罪抑止防犯施策の充実強化を



きたの こうじ
北野 興地
議員



A 「事業計画」に基づき取り組み

Q 安全・安心なまちづくりは、あらゆる生活の基本と考える。令和

4年中の重点犯罪(刑法犯)発生は、前年対比33件増加しているが、その分析と本年の防犯施策は。

A 侵入盗は1件減少しているものの自動車盗や自転車盗等が増加している。防犯施策として、本年も住民の防犯意識の強化等を図り、夏にイオンモール東浦と秋には産業まつりでの啓発活動や防犯パトロール講座等を開催する。

Q 「東浦町安全なまちづくり」条例にある防犯意識の高揚等の方策として、地域の回覧板活用の拡充強化を提案するが見解は。

A 住民への周知徹底を図るため半田警察署等から提供された防犯チラシを各地区連絡所長へ地域内回覧を依頼した。

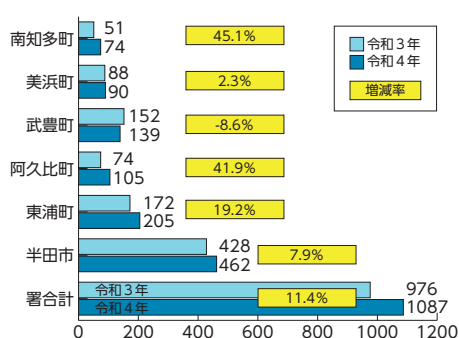
Q 情報伝達にはスピーディーな展開が重要であり、防災ラジオ等行政無線による犯罪情報等の発信を

拡充すべきと考えるが、前年度中の発信実績は。

A 年金支給日前日および当日に、各3回延べ36回、侵入盗や特殊詐欺の被害防止のお知らせを行った。

Q 各種情報発信に遅延があれば住民の生命・身体・財産に多大な影響を及ぼすと考えられるが見解は。

A 緊急情報の発信は、時機を逸するとその効果が薄れ、被害の拡大等につながるおそれがあると考え、引き続き防災無線、町ホームページ等情報提供手段の多様化を図る。



▲半田警察署生活安全課「刑法犯発生状況」市町別刑法発生状況

Q 本町の窓口業務について



あかがわ みさえ
赤川 操恵
議員



A 住民に寄り添った対応に努める

Q 総合案内所設置について伺う。

A 令和4年度に職員による臨時案内所を設置したところ、問い合わせが一日当たり約30件あった。総合案内所を設置している近隣市町の手法を参考にしながら、本町役場への設置に向けた検討を再度進めていく。

Q 遺族の方は大事な方を失った悲しみの中で、多岐にわたりがつ煩雑な手続きを進めなくてはならない。本町のおくやみ窓口設置の検討状況について伺う。

A 設置場所、備品の確保、システムの改修、職員の確保等の問題があり設置はできないが、「おくやみハンドブック」^①を作成し、3年から運用している。



▲窓口案内所

一町運行バス「う・ら・ら」について

Q 令和6年10月に予定されているダイヤ改正について、住民が意見を述べる機会があるか伺う。

A 座談会のようなグループインタビューを各小学校区で順次開催する結果を受けて東浦町地域公共交通会議で全体の利便性を考慮しながら議論を行い、より利用しやすいダイヤを目指す。

Q 運転免許返納後の生活がイメージできず不安であるという声に対しての本町の取り組みを伺う。

A 鉄道、町運行バス「う・ら・ら」、民間バス、タクシーの利用促進に取り組んでいる。乗り方教室等イベントを開催。お出かけスポット等を盛り込んだ公共交通パンフレットの配布や町運行バス「う・ら・ら」の回数券を共通で民間バス・タクシーでも利用可能にした。

他 本町の都市公園について



▲保育士と園児

Q 東浦町の 保育園について

A 安心・安全な保育ができています

Q 保育士不足・待機児童問題の本町の状況は。

A 町立保育園全106クラスの担任に正規職員および会計年度任用職員を配置できているため、安心・安全な保育運営ができていると認識している。また、令和4年度の待機児童は0人である。

Q 事故や保育士の虐待の原因の一つが無理のある配置基準にあると考えられているが本町はどうか。

A 国の配置基準を満たした上で、保育士補助や障がい児加配^①、早朝



みうら ゆうじ
三浦 雄二
議員



延長を含め会計年度任用職員の保育士を配置していることから、適切に配置ができている。

Q 保育士は仕事の多さから、園児の降園後に残業をしたり家に持ち帰ったりすることもあるのか。

A 時間外に行うべき業務が、翌日以降に行う業務が、他職員が手伝える作業が精査し、進捗状況も含めて確認して適切な時間外勤務につなげており、持ち帰り残業がないよう指導している。

緒川新田地区の まちづくりについて

Q 名古屋半田線の進捗状況は。

A 緒川植山交差点から阿久比町の福住交差点間約2.4kmの未整備区間は、令和4年5月に、地元住民を対象とした道路計画及び用地測量の説明会、同年8月には、用地境界立会いが開催され、順次整備が進められている。

Q 空き家対策の 具体的方針は

A 適切な管理するよう通知等する

Q 空き家等問題が、防犯上、環境面、景観上または公共事業計画等に影響が出る状況だが、本町の現状件数の把握状況は。

A 昨年夏の調査結果により、平成27年度調査の310件に対して、約3割増加し現時点で402件となっている。その内訳として、前回調査の空き家の半数が除却等で減少しているが、一方で新たな空き家が251件増えている。

Q 特定空き家等に対する対策は。

A 現在、本町には特定空き家等に認定した空き家はない。危険な空き家があることは認識しており、その内1件は助言を行い昨年度解体された。



▲空き家等に対する施策の基本方針



ひさまつ ただし
久松 純志
議員



立地適正化計画と 公共施設の整備・再編

Q 統廃合等の判断について伺う。

また「公共施設再編に係るモデル施設基本計画策定」と「公共施設用地確保」での考えは。

A 公共施設再配置計画検討委員会等で検討している。少子高齢化、人口減少等社会環境の変化が加速する中、今後さらに厳しい財政状況が予想され、現在の公共施設等をそのまま維持・更新していくことは困難であり、抜本的な見直しが必要となる。

Q 定住自立圏^②等の広域的取り組みは。

A 今後大きく人口減少が見込まれる地区もあることや、市町境で区切った考え方は住民の利益増進につながるまちづくりが進みにくい面もあるため、広域的な連携や取り組みを引き続き積極的に進める。

他 東浦駅周辺整備について

①障がい児加配…障がいのある子どもに対し、サポートや援助ができるよう、通常の職員数に加えて保育士を配置すること
②定住自立圏…少子高齢化、人口減少等の中、「中心市」と「周辺市町村」が役割分担し、生活に必要な都市機能の確保と生活利便性や地域の魅力の向上を図ることを目的とした、市町村合併や広域連合とは異なる新しい広域連携の施策。東浦町は、刈谷市、知立市、高浜市とともに衣浦定住自立圏を形成している。

Q 帯状疱疹ワクチンの費用助成は



ま せ むねのり
間瀬 宗則
議員



A 接種費用助成の考えはない

Q 幼児期に実施する水痘(水ぼうそう)ワクチンの予防接種と、帯状疱疹の発症とは関連があるのか。

A 過去の「水痘ワクチン接種」や「水ぼうそう・帯状疱疹ウイルス」に感染した等により、ウイルスに対する免疫を持っている人が、加齢とともに、獲得した免疫が弱まり、帯状疱疹の発症リスクが高くなる傾向があるといわれている。

Q 帯状疱疹ワクチン予防接種の費用助成の考えを伺う。

A 現在、国の厚生科学審議会において、予防接種法に基づく定期接種化に向け、審議されている。現在は任意接種として、本人の意思と責任において接種の有無を選択するものとなっているので、個人の負担軽減を目的に接種費用を助成し、接種を推奨する考えはない。

一移動式期日前投票所^①の導入を

Q 移動式期日前投票所の導入に對する本町の考え方を伺う。

投票できる方	選挙期日に仕事や用務があるなど、選挙期日に投票できないと見込まれる方
投票できる期間	選挙期日の公示日または告示日の翌日から選挙期日の前日までの間の、8時30分から20時まで
投票できる場所	東浦町役場 西会議室棟 1階
手続き	①宣誓書等の提出…期日前投票所の受付係に、必要事項を記載した宣誓書と投票入場券を提出します。なお、投票入場券裏面の宣誓書、または下記リンクの宣誓書に事前に記載していただくと、スムーズに受付をすることができます。また、投票入場券がなくても投票できます。 ②投票用紙の交付…受付係で宣誓書の記載事項を確認後、交付係で投票用紙をお渡しします。 ③投票用紙への記載、投票…投票記載台で投票用紙に記入し、投票箱へ投票用紙を投函します。

▲期日前投票の説明



▲神谷明彦町長の町政に関する発行物

Q 神谷町政の12年間の実績は



やました きょうじ
山下 享司
議員



A 町債約69億減・基金約40億増

Q 12年間の実績と評価は。

A 防災・防犯のための体制づくりは地域の力が欠かせないと考え、自主防災会への支援、防犯カメラ設置補助を行った。

子どもたちには、科学する、議論する、表現する人材であってほしいと願い、培ってきた個別・個性化教育、主体的・対話的で深い学びを推進してきた。

財政改革では、町長自ら率先して過剰な支出を省くことが大切と考え、退職金を支払わない条例を制定する等した。

また住民の皆さんに参加をいただき、事業仕分けや補助金改革を行い、

職員の意識改革になった。

その結果、町債残高は平成23年度末から令和4年度末で約69億円減額した。土地開発基金を除く基金残高は平成23年度末から令和4年度末で約40億円増額できた。

職員のレベルアップについて、事業仕分けや業務改善制度、職員研修、納得性、透明性のある人事評価制度等を通じて育成に努めてきた。

Q 政策実現するために大切にしたいこと、心掛けたことは。

A 手段を目的化せず狙った効果を得るために、最小コストのやり方考える、優先順位に基づき事業を選択し、やりたい政策、すべき政策に資源を集中し、政策に特徴を持たせることを大切にしたい。

Q 町議会選挙と町長選挙を同時に行うことで、財源削減になるが、なぜ同時選挙を考えなかったのか。

A 与えられた4年の任期を全うすべきと考えたため。

語句説明

①移動式期日前投票所…大型車両に投票箱や選挙機材を搭載して各地域を巡回し、その車両の中で有権者が投票を行うもの

Q 本町の 耐用年数の設定は

A 今後見直しを検討

「公共施設マネジメント」について

Q 軽量鉄骨造の耐用年数の本町の設定はどのような考え方によるものか。また東浦町役場西会議室棟の目標耐用年数は、日本建築学会の「建築物の耐久性に関する考え方」による上限値50年を大幅に超過しているが見解は。

A 2020年3月に策定した東浦町公共施設個別施設計画において、耐久度調査の結果も参考に適切な更新時期となる目標耐用年数を、町が管理する鉄骨造の施設の場合は、重量鉄骨・軽量鉄骨にかかわらず一律に80年を目途とする方針としてきた。そのため、日本建築学会が示す考え方と整合するよう、今後見直しを検討する。

Q インフラの長寿命化は、どの程度の将来負担額の削減効果があるのか。また長寿命化計画を有するにもかかわらず建物に比べ情報公開量が少ないように思えるが見解は。

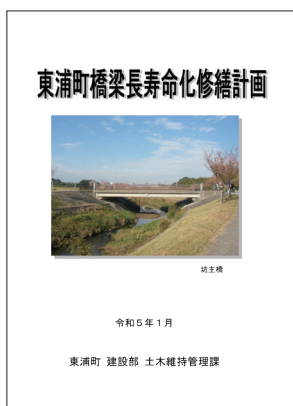


ながさか ともやす
長坂 知泰
議員



A インフラの将来負担額の削減効果は、東浦町橋梁長寿命化修繕計画では100年間で2億6400万円、東浦町下水道ストックマネジメント①計画では50年間で約344億円、東浦町水道事業ビジョンでは、40年間で約107億円、公園施設長寿命化計画では10年間で約2億5千万円と推計している。なお道路、ふれあい広場および農業用排水機場では、将来負担削減額を算出していない。

また一部の長寿命化計画についてホームページで公開されていない状況であったため、この度のご意見を踏まえ公開した。



▲東浦町橋梁長寿命化修繕計画

議会 トピックス

GIKAI TOPICS

定例会だけじゃない！
議会の動き



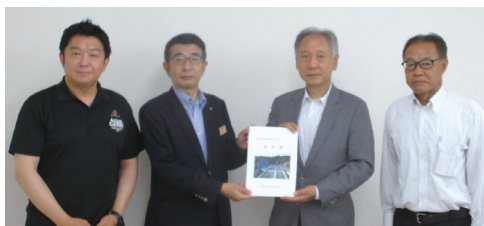
4/2
㊦

東浦町消防団入退団式

町文化センターで令和5年度東浦町消防団入退団式が開催され、幹部・新人団員への辞令交付、退団者への感謝状の贈呈が行われました。町消防団へは新たに11人の団員が加わりました。議会を代表して山下議長(当時)が地域防災の要である消防団に対して、感謝と激励の挨拶をしました。

6/6
㊦

県へ道路・河川等の整備要望



東浦町の建設事業総合要望に関する意見交換会が開催され、住民が安全かつ快適に暮らせるまちとするため道路・河川の整備事業が推進されるよう鏡味議長が町長とともに要望書を知多建設事務所長へ提出しました。



5/17
㊦

新議員研修会

4月23日の改選に伴い新議員研修会が開催されました。午前には令和5年度当初予算、総合計画や議会制度等、新議員に必要な基礎的な知識について、午後は新たな試みとして外部講師を招き法令・条例の読み方について研修しました。